

# ヒメイチョウゴケ

*Sphenolobus minutus* (Schreb.) Berggr.

兵庫県ランク… A

環境省ランク… -

## ■ 県内分布

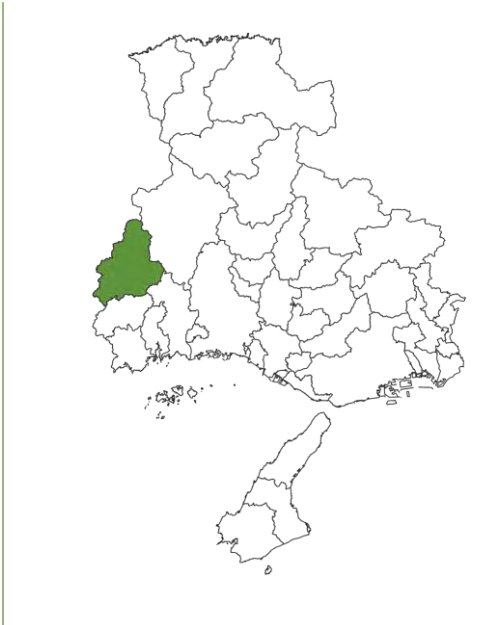
佐用町

## ■ 国内分布

北海道、本州、四国

## ■ 選定理由

| 人為性    | 特殊性    | 学術性   |
|--------|--------|-------|
| 生育環境破壊 | 特殊生育環境 | 特殊な分布 |
| 観賞用等採取 | 特異な生態  | 分布の限界 |
|        |        | 希少    |



## ■ 特記事項

以前記録のあった佐用町では、生育を確認できなかった。旧学名 *Anastrophyllum minutum* (Schreb.) Schust. 旧和名ヒメイチョウウロコゴケ。

## ■ 保護上の留意点

環境の乾燥化で、すでに絶滅している可能性が高い。

## ■ 種の概要

植物体は小型、褐色で固い。茎は長さ約1cm。葉は1/4-1/2まで2裂し、鋭頭から鈍頭。葉は左右非対称になる。葉は横につき、背側にほとんど偏向せず、厚壁で縁取られる。葉身細胞はトリゴンが小さい。油体は1細胞に3-6個、円形から楕円形、小粒の集合。故山帯や亜高山帯の岩上に薄い小さなマットをつくる。兵庫県では風穴出口付近で見ついている。